

共同研究グループ 代表 (八尾市) 正会員 岡村隆正
 " 幹事 (茨木市) 正会員 尾花英次郎

はじめに

- ・本共同研究は、産官学の多様なメンバーにより、平成11・12年度の2カ年に渡り実施。
- ・1年経過した昨年（H. 12. 6. 5）関西大学でワークショップ開催。参加者から意見いただく。
- ・今回、報告書としてとりまとめ、最終のワークショップを開催。議論いただきたい。

研究目的

- ・なお進む高齢社会の中で、都市で生活し、活動する「老いも若きもすべての人々」が、都市を生き活きと動き回り、都市を楽しむことができるような都市交通を考える。
- ・中心市街地の活性化、生活環境・都市環境の再生、都市構造の改変などを念頭に。
- ・自動車と公共交通機関をどうするか。自転車・歩行を活かす仕組み・施設は。

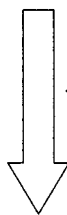
研究方針

- ・次の略図による問題意識から、先ず、★1：都心の現状を分析。次に、☆3. あるべき都心の姿を想像。最後に、◎2. そのときの都心（都市）交通の姿とその実現のための施策を検討。
- ・並行して、堺市、枚方市、八尾市などについて事例研究。地域毎に、具体的なイメージを描いていく。

問題意識の略図

★1. いく気にならない都心

- ①中心市街地の魅力・活力の低下、都心環境の悪化（排ガス、騒音、治安）
- ②都心の自動車交通環境の慢性的な悪化（渋滞、駐車場不足と高額化、違法駐車）
- ③公共交通機関の利用低下、経営悪化、サービス低下
- ④歴史遺産、伝統などを活かしていない
- ⑤伸びきった都市（どこまでも続く、メリハリない都市）



◎2. 都市（都心）交通政策

- ①都心の自動車交通の抑制
- ②快適・便利・安価な公共交通機関
- ③交通結節点の改善
- ④徒歩・自転車の活用

☆3. 新たな都心の創造（歩きたくなる都市、都心に住み・楽しむ）

- ①中心市街地の活性化・にぎやかな都心
- ②徒歩・自転車・公共交通機関中心の都心交通
- ③歴史、伝統に根ざした個性を活かした都心
- ④メリハリある都市の実現

経過

メンバー内外による話題提供→議論。事例研究都市の調査→議論などを繰り返し、とりまとめ。

Takamasa Okamura and Eijiro Obana

概要

1. 都心の現状

○衰退の状況、原因

- ・ライフスタイルの変化 : 近所の商店街 → 車で郊外SCへ
- ・小売商業の活力の低下 → 経営者の高齢化と後継者の不足
- ・悪循環 : 商店街が歯抜けに → 商品がそろわない → お客が来ない

○伸びきった都市（都市構造）

- ・薄くベターとした市街地は、生活者の環境・防災・精神衛生上も問題
- ・にぎわいが分散（にぎわいのあるところへ人は集まるのに）

2. あるべき都心の姿

○今後の社会経済状況（少子高齢、情報、環境など）

- ・高齢化 → 自家用車移動を中心とした都市では暮らしていけない
- ・情報化 → 情報は簡単に入手。それにより活動は広域化・多様化
- ・環境 → 環境に配慮した生活・活動は当たり前

○都心に求められる姿（機能、顔、にぎわい、精神面の中心など→コンパクトシティ）

- ・歴史・伝統に根ざし、時代とともに格調が高まる都市
- ・徒歩を基本に活動できる都市
- ・いつもにぎわっている都市 → 純化でなく多用途に（高密度・多様化）
- ・シンボル空間（広場）：いつも人が集まり、交流ができる

3. そのときの都心交通の姿と必要な施策

○意図的な都心の交通政策が必要 → 最終目標：メリハリある都市（都心）をつくる

- ・環状道路やバイパス、都心周辺の駐車場が整備され、都心の自動車交通を抑制。
- ・都心では、歩道・自転車道を整備。歩行・自転車と公共交通が中心に。
- ・公共交通は、利用しやすい・移動方向（ルート）がイメージしやすい・安い・乗り換えしやすいものに。

○都心の人の活動イメージ

- ・車利用：行く場所1～2箇所 ⇒ 公共交通・徒歩・自転車：目的は1～2箇所でも、興味のおもむくままに立ち寄り

○中心商店街の経済面でのメリット

- ・都市の魅力の向上により、都心への吸引力が高まり、自家用車利用の来街者より、集客人口は増加し、都心での買物客の滞在時間も伸びる。

○実現のためのストーリー（求められる施策メニュー）

- ・地域の交通状況による道路ネットや駐車場の配置・規模の考案
- ・都心の自動車交通・駐車場の抑制策
- ・地域に合った公共交通機関の選定（路面電車、バス、自転車など）
- ・乗り換え抵抗の軽減策（物理的、精神的、運賃など。商業施策との連携も）
- ・民間の運営努力・ノウハウを引出しつつ、公共性を支える公的支援制度の確立。
- ・歩行・自転車環境を思い切って整える一場合によって車をいじめる
- ・全体を見通しつつも、できることから実施→試行錯誤を繰り返し、着実に進める（パッケージ・アプローチ、社会実験、首長のリーダーシップ）